

関係各位

大阪府病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

標記について下記のとおり発表したので送付します。

病虫害発生予察注意報第2号

病虫害名 いもち病（葉いもち・穂いもち）

- 1 発生作物 水稻
- 2 発生地域 大阪府全域
- 3 発生の状況

大阪府の水稻いもち病（葉いもち）の8月平均発病株率（過去10年間平均）は6.2%に対し、今年8月10日現在の発病株率は以下のとおり。
3カ所で過去10年間平均の3倍を超える発病株率で、中山間部に限らず平野部でも高い値となっており、今後の気象状況によっては葉・穂いもちの発生増加が懸念される。

調査地点	発病株率(%)
茨木市下音羽	18.7%
豊能町切畑	6.7%
能勢町倉垣	1.3%
富田林市西板持町	17.3%
八尾市水越	18.7%

各調査地点3ほ場 1ほ場あたり25株

4 防除対策

- (1) ほ場の状況をよく観察し、適期に防除する。
 - ・穂ばらみ期～出穂期に薬剤を散布する。
 - ・発生が多い場合はさらに穂ぞろい期～乳熟期にも散布する。
 - ・薬剤により使用時期が違うので、ラベルをよく読んで適期に散布する。
- (2) 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、同一グループの薬剤を連用しない。
- (3) 農薬散布後1週間は落水やかけ流しをしない。
- (4) 薬剤を散布する時は、周囲に飛散しないよう注意する。
- (5) 以下の薬剤を参考とする。
 - ・ブラシンフロアブル（葉いもち・穂いもち 1,000倍 21日前/2回）
 - ・フジワン粒剤（葉いもち：3～5kg/10a 初発10～7日前ただし収穫30日前/1回）
（穂いもち：3～5kg/10a 出穂30～10日前ただし収穫30日前/1回）
 - ・コラトップジャンボ（葉いもち：10～13パック/10a 初発20日前～初発時/2回）
（穂いもち：10～13パック/10a 出穂30～5日前/2回）
 - ・キタジンプ粒剤（葉いもち：3～5kg/10a 初発7日前～初発時/2回）
（穂いもち：3～5kg/10a 出穂20～7日前/2回）
 - ・オリゼメート粒剤（葉いもち：3～4kg/10a 初発10日前～初発時ただし収穫14日前/2回）
（穂いもち：3～4kg/10a 出穂4～3週間前ただし収穫14日前/2回）